

# Be ambitious !!



筆者右から一番目

北海道総合政策部地域行政局市町村課

**藤原 達展** Fujiwara Tatsuhiko

平成21年4月 総務省採用  
自治税務局企画課総務室  
平成22年4月 自治税務局企画課  
平成23年4月 現職

## 地方自治の現場で思うこと。

私は今、北海道庁市町村課で働いています。総務省では若いうちから、地方自治の現場で勤務する経験を与られています。私も霞が関というフィールドから北海道という全く異なるフィールドで日々汗を流しています。

ここ北海道庁市町村課では、北海道内の市町村職員も数多く在籍しています。市町村の方々は日々、住民生活という現場で感じたことを教えてくれますし、自分が総務省で関わってきた制度についてどう感じているのか、数多くの示唆をいただいています。また、自分も市町村課というフィールドで仕事していく中で、「この制度はここを直せばもっとよくなるのではないか」と思うことも多くあります。

総務省で携わっていた施策を、現場からの視点という、今までとは異なる視点からとらえ直し、それをもとに再度総務省で、その施策を実態に即したものにしていけることができる。ここに総務省で働くことの大きなやりがいがあると思います。

## 総務省という職場

私は、霞が関での2年間は、自治税務局で地方税制度の企画・立案の仕事をしていました。当時、法人税率の引下げ等が、連日報道で大きく取り上げられていました。

その中で、私が作成した資料を基に税制調査会という場で議論され、政策として決まっていく。そういった場面に立ち会えたことは、緊張の連続ではありましたが、日々それ以上の充実感を味わうことが出来ました。

## 総務省の魅力とは？

総務省には、北は北海道、南は沖縄まで全国各地で様々な経験をしてきた多彩な人達があります。そして、それぞれが経験したことをもとに「地方をよくしたい」という大志を抱き、日々仕事をしています。

是非みなさんも、一度総務省に来て、職員が語る大志を肌で感じ取ってください。そして、我々と一緒に地方、ひいては日本全体を元気にしていくという大志を抱き、ともに働いてみませんか。